

収納力のある家 を考える

どうやったら片付くの？物であふれるわが家…

「収納力のある家」を建てたり、「収納力のある家」にリフォームするのは簡単です。限られたスペースをうまく使って、見事におうちに収納させて大満足したいものです。でもね、収納スペースがないからって、安易にお金をいっぱい使って大改造していいものでしょうか…、その前にもう一度、見直してみなければならぬことってありませんか？

●お家を新築した後で、よくお聞きする失敗談のひとつが「もうすこし収納スペースをとっておけばよかった…」です。

●「最初はこんなに物が増えるつもりはなかったのに…」「子供の数が増えると、どうしてもその分荷物が増えるよね」「子供の成長にしたがって小さい頃のもの整理しないと今は使わないものが増えるね。」

●ごもつともです、世の中の主婦がみーんな抱えている問題です…。一人暮らしの皆さんも、気がついたら足の踏み場もなくなっているということは、絶対にあるはず



収納上手は、生活上手です…。

収納とは、ただやみくもに物を押し込むことではありません。日常使いたいものがすぐに出せる、使ったものがサツとしまえる…モノを適材適所に整理して 使いやすくしまうことの上手な人こそ、ほんとうの収納上手と呼べるひとはではないでしょうか？

まず、ものの仕分けをしましょう！

1. 毎日使うもの
2. ときどき使うもの
3. 季節的に使うもの
4. 子供の作品類や、思い出の品物、写真などの保存しておきたいもの
5. 消耗品、ストック品…キッチンや事務用品など。リストを作っておくと補充や管理がしやすくなります。
6. 処分品…もう使わない家具や家電製品、引き出物など、あいまいにしまいこんでいたものは、思い切って処分を考えることも大切です。

快適収納の第一歩は、持ち物のシェイプ・アップ

●捨て上手な人ほど、片付け上手といわれます。

だからといって むやみに捨て続けるわけにもいきません。そのときはジャマなものでも、処分した後で「取っておけばよかった」と後悔することもあるからです。

●よくよく分類・チェックした結果、それでもいらないモノを処分しましょう。例えば…

1. 子供用品



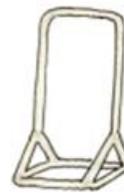
成長とともにいらなくなったモノは、増える一方ですね。次の予定がなければ、初めてはいた靴など思い出の品を厳選して、あとは潔く処分しましょう。

2. 家電製品



数回使っただけのヨーグルトメーカー、パン焼き器、新品に買い換えたモノ…など、「もったいない」は、もうあきらめましょう。

3. 健康器具



結局使わないものも数々あるはず。思い切って処分しちゃいましょう。

4.衣類・バッグ・靴・装飾品



いつか着よう、使うこともあるだろう…と置いてしまいこむと結局はワードローブのぜい肉に…。最長3年のサイクルでチェックし、出番がなければ処分しちゃいましょう。

5.スポーツ用品



ゴルフ・スキー・テニス・アウトドア用品…。ウェアもあふれていませんか？もうやらない、やる時間がない、のであれば、処分してもよいのでは…

6.いただき物



結婚式などでいただいた引き出物は、いちばんの困りモノ…。趣味に合わないモノは潔く処分しましょう。景品や粗品も同じです。

7.本



人によっては最も処分しにくいアイテムですよ。でも2度と読み返さない本も多いのではないのでしょうか？100冊処分すると約2mの棚が1段あきますよ…。

8.ビデオテープ



これは残しておきたいと録画しても、結局見ないのなら処分しましょう。映画だったらレンタルもできますから…。

モノを大切にすることは美德です。ごみとして捨ててしまうのではなく**リサイクル**も考えましょう。捨てる前に、リサイクルショップに問い合わせしてみたり、市町村の機関を利用する、フリーマーケットに出したり、ガレージセールを開いたり…。地域の情報誌などを見て、物を無駄にしない処分方法も検討しましょう。

シーズンオフの衣類は、クリーニング屋さんに預ける

- シーズンオフの衣類は、大手のクリーニング業者などで預かってくれるシステムがあります。
- きちんとクリーニングをしてから、衣類に適した管理をしてくれるので高価な衣類も安心です。
- 費用は、万が一を考慮して保険がかけられるので、少し高めです。

トランクルームを借りる

- 家財や、蔵書、しばらくは使わない自転車など、さまざまなものを預けることができます。
- マンションなど、余分なスペースが考えられないおうちでは、特に考えたいものです。
- おうちの中に収納スペースをたくさん作るのもいい方法かもしれませんが、収納スペースがお家のどのくらいの割合を占めるかを 予算的に考えると、随分高くつく場合もあるので、いっそ借りてしまうほうが、安い場合もあります。

物置の活用



- 室内の収納が限界であれば、屋外の簡易な収納スペースを考えましょう。
- プレハブの物置は、ベランダに置けるコンパクトなサイズから、3畳～6畳ぐらいの大型のものまで、大きさもいろいろあります。
- タイプによっては、棚板がついていたり、窓付きなどもありますが、多くは、四角い空間です。棚や箱で効率よく分類しましょう。
- 他人の目にふれないところなので、古い食器棚や本棚の活用で十分です。
- 屋外なので、冬は天然の冷蔵庫にもなり、保存食や おせち料理の一時的な置き場にも使えます。ただ、
- 夏は内部がかなり高温になるので、注意が必要です。また、ずっと閉めっ放しにすると、湿気が心配なので、頻繁に換気をするように心がけましょう。

★さて、おうちの中に置いておく物が整理できたら、今度は上手に収納しましょう。

収納の3大原則 (1)使いやすく納める (2)しまう (3)飾る

1.使いやすく納める

食器を例にすると、毎日使う日用品は中段の取り出しやすい位置にしまい、ふだん使わない来客用や季節外の食器は、高い位置に収納する。**使用頻度でモノを分類し、場所を決めるのが基本テクニック。**

2.しまう

毎日使わないモノは、使用目的ごとにまとめておしまいします。**グループ分けして、箱や引き出しなど専用の場所にいれておけば、**今度使うときにも、すぐ取り出すことができます。

3.飾る

趣味で集めたモノや思い出の品などは、毎日ながめたいですね。飾ってこそ本領を発揮します。**収納には、飾る収納、見せる収納もあります。**住む人の個性が反映される、究極の収納方法です。

収納作戦のために予算を決めましょう！

理想的な収納を実現するには、やはり新築・リフォームなどの 思い切った方法が一番の近道です。

リフォームの場合、規模やシステムによって価格はいろいろありますから、**まず予算を決めましょう。**

●既存のスペースに棚を設置したり、クローゼットをつくったり、システム家具を設置する程度なら、かなりリーズナブルにできます。

●その家に あとどのくらい住むかによって リフォームの程度・予算も変わってくるはず…。大掛かりなリフォームも、ずっと住むなら、将来にわたって快適な暮らしができるのなら、お得だからです。



収納STEP【1】

収納グッズを活用する



通信販売、テレビショッピング、100円グッズをうまく利用しましょう。日曜大工も楽しいですよ。新たなゴミをつくらぬように注意！

収納STEP【2】

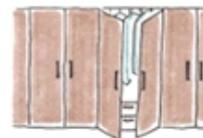
収納家具を購入する



どこに置くか、家具のサイズは 内寸法か 外寸法か、アジャスター調節をふくめての寸法ではないか…など よくよく注意！

収納STEP【3】

新築・リフォームの検討
お家の構造を収納力あるものにする



収納家具では、地震対策が大変…。やはり、造りつけの家具などの方が安心は安心です。